

川神裕司の 夢の船 タイムス

第15号
H13年11月発行
後援会住所・連絡先
長沢町162
0855-22-2036
E-mail
iidaikan@iwami.or.jp
電子メールでも御意見をどうぞ

浜田市の近未来図 第4次総合振興計画基本構想 議会において承認

浜田市は、厳しい財政状況の中、市民が望む施策展開のために、新たな総合振興計画を策定しました。今回の計画は、ハードからソフトへの転換を図り、「海」や「県立大学」などの特色ある資源を最大限活用することに重きを置いています。

特に今回策定にあたり、私が提案及び指摘したことは、「わが町」の計画は、自らの思いと知恵で創るべきであるという点！そして、「絵に書いた餅」はならない！計画は、財源の裏付けをすべきである。そして、常にその計画が時代にあっているか検証するシステムがいるという点です。



今後計画の推移を厳しく見守っていきたいと思います。

国会議事堂を背にして

一般会計の主な補正内容

ハッピーアフタースクール運営補助費	500千円
身体障害者移動補助用具助成事業	903千円
飲料水安定確保対策事業	11,000千円
いきいき漁村づくり推進事業	1,049千円
交通安全施設整備事業	2,600千円

平成十三年九月第三八九回定例会が、三日から十七日までの、十五日間で開催されました。

今回の主な内容は、石央文化ホールの使用における減免や、松原幼稚園の廃園に伴う条例改正、そして八十万円あまりの減額とな

ステーションだけの使用が可能に 石央文化ホールの大ホール

原井幼稚園との統合に伴い廃園に
松原幼稚園

平成十三年九月第三八九回定例会が、三日から十七日までの、十五日間で開催されました。

失業相談窓口の設置を求める

民間委託は積極的に導入を検討する

今回の議会において、「地元経済不振対策と雇用の安定について」と「定員管理と民間委託について」の二点について、質問を行いました。

地元経済不振対策と雇用の安定について

質問

国が行う構造改革により、地方交付税の減少及び地元経済への影響について

回答

市の歳入の約三割を占める

報告は、慎重審議の上、可決または承認されました。

決まれば承認されました。

今後の地方交付税の削減は、今後の施策推進に大きな影響があると危惧している。地域経済は一段と厳しくなるものと懸念する。

質問

地元企業の倒産に伴い人口流出が起こるのではないかと。市独自の施策が必要ではないか。

回答

失業者に対する再雇用は、ハローワーク浜田等と連携を取り、対応する。雇用対策は、今後の施策に、情報

まちづくり一言提言 地域情報化の行く末

今浜田市では、地域情報化のための情報通信基盤の整備をCATVで行うか、ADSLで行うか、議論が分かれています。というのも、どちらも一長一短あるからです。

しかし、問題は、流す情報の中身です。いずれの方法でも、初期投資に莫大な資金を必要とするため、財政難の当市では、どうしても二の足を踏んでしまいます。私は、その整備の代わりに、相当数普及している携帯電話・メール等で、市行政情報や緊急防災情報等を

を的確に捉え対応したい。

質問

今後の財政計画における経済対策、失業対策関連費は。

回答

経済対策は、今後の実施事業や、行財政改革の実施事項を精査し、十二月議会に報告したい。

定員管理と民間委託について

質問

民間委託の推進を上げる浜田市にとって、来年度の現業職の採用募集はなぜ行われたか。また、現業職員一人当たりの社会保険料等市負担分を含めた年間平均年収と、退職金を含めた生涯賃金は。

流していくのも、有効な方法と考えます。皆さんの必要な情報は？

通信回線	概要
ADSL (非対称デジタル加入者線)	既存の固定電話用の銅線ケーブルを利用した高速データ伝送技術の総称
FTTH (光ファイバー)	光ファイバーによるデータ通信サービス
CATV インターネット	CATVの同軸ケーブルを接続して利用するサービス

回答

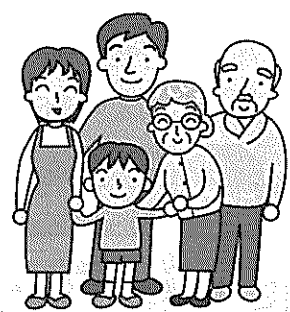
欠員補充以外の退職者については、採用すると言う当初の計画からの方針に基づいている。平均賃金は、七、三〇九千円あまり。生涯賃金は、約一億八千万円。

質問

民間委託の優先順位等現在の検討状況および新たな部門への検討について。

回答

安全やサービスの低下を招かない部門については、積極的に導入の検討をする。



幸せな家庭は雇用の安定があってこそ！

市町村合併は地域を救えるか？

議会としても広域合併問題調査研究会を設置 研究会の副会長に就任

今合併について

正面から検討する時期がきています。

(I) 合併論議が本格始動！

現在、小泉内閣が圧倒的な支持を盾に、「聖域なき構造改革」を断行しようとしています。たしかに戦後日本は、世界でも有数の豊かな国の仲間入りを果たしました。しかしながら、今のままの中央一極集中の仕組では、既に時代の流れに立ち行かなくなってきたりするのはないかと思えます。全国的にみても地方交付

税に依存している割合が極めて大きい島根県にとって、国の財政が窮地に追い込まれている現在、財政基盤が大きく揺らいでいます。そういう中、社会保障の維持少子・高齢化への対応も更に厳しさを増してきています。昨今です。今までのシステムと分かれを告げ、新たな行政システムの構築と財政改革が急務です。

何故合併が急浮上？

実は市町村合併の問題は急に起こった訳ではありません。地方分権推進の流れの中で着実に議論されてきた問題です。しかし加速度的に進み出した背景には下記のような要素が考えられます。

- 市町村合併が遅々として進まない
- 国・地方における財政難が問題となり構造改革を求められている
- 都市部から地方に対する交付税パッケージ
- 地方行政の健全化に対する強い要望
- 合併肯定論者の増加

では、現在の合併のキーワードは？
地方分権の推進、少子高齢化の進展、
国・地方の財源不足

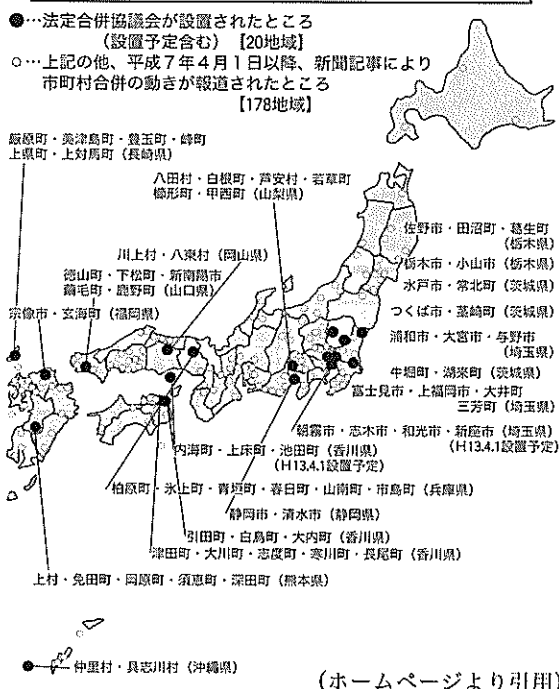


とにかく今後の「まちづくり」は、現在の市町村の枠組みのままでは簡単には進まないところまで進みます。たしかに、現在広域行政組合等、市町村の枠を超えた運営がなされていますが、限界があり、合併論議は避けて通れません。

合併特例法 市町村へのおみやげ

- ① 合併を検討する市町村に対する支援
 - ② 合併後の市町村に対する支援
 - ③ 地域審議会の設置容認
 - ④ 市町村議会議員の定数・在任に関する特例 等
- 合併特例法と言う「おみやげ」は2005. 3. 31まで、つまり来年3月末には、法定合併協議会を立ち上げて、合併するか否かの論議をしないと間に合わない恐れがある。

全国に広がる市町村合併の動き 【平成13年1月26日現在】



(II) 全国に広がる 市町村合併の動きは？

しかしながら、今までの国から交付税をもらい、事業を進めてきた地方自治体の実体からみると、簡単に踏み切れないところが本音でありましょう。それを判断するのは地域住民の方々であり、行政は、正しい情報提供の中で住民論議を促さなくてはなりません。さあ議論を始めましょう！

(III) 今後のような視点で、 合併を捉えるか？

- ① 市民サービスの確保、もしくは向上が可能か。
 - ② 健全な財政状況を生み出すことができるか。
 - ③ 行政運営の効率化が可能であるか。
 - ④ 新産業の創出が可能であるか。
 - ⑤ 圏域内の意識が統一できるか。
- さらに色々な議論の観点がありますが、産業活性のための人口確保・企業集積は重要な観点です。そして、国の財政難から予想しても、確実な交付税減が考えられ、同じ自治体として存在する場合、この圏域はさらに運命共同体になるということを忘れてはなりません。



合併のメリットとして考えられる点

- 議員などの数が減ることによって人件費等の経費が節減できる
- 予算を効率的・重点的に使えるようになる
- 財政規模が大きくなり大規模事業ができるようになる
- 無駄のない土地利用が可能になる
- 他の市町村の公共施設も利用できるようになる
- 専門的・高度な能力を持った職員確保が期待できる
- 産業経済の活性化が期待できる

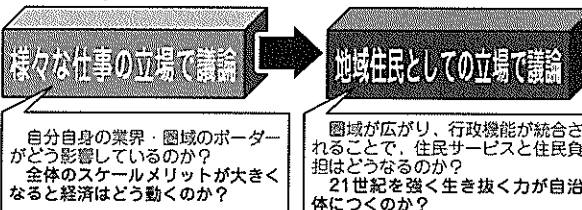
合併に消極的になる理由

- きめ細やかなサービスが受けられなくなるおそれがある
- 合併により、周辺の開発が後手に回るおそれがある
- 役所が統合されると、役所が遠くなり不便になる
- 従来の地区住民意識が残り、地域間対立が起こる
- 共同体意識が低下し、住民間の結び付きが希薄になる
- 旧来の中心市街地が空洞化してしまうおそれがある

(平成11年島根県政世論調査による)

皆さんはどんな立場で、またどんな視点で合併を議論するのか？

国が昭和の大合併により決めた現在の行政枠！
すでに住民、企業人としての繋がりからみると問題？



(IV) 国と合併の メカニズムメカニズム

Ⅴ 県の示す合併パターンがベストか？
Ⅵ 近隣市町村の取り組みは？

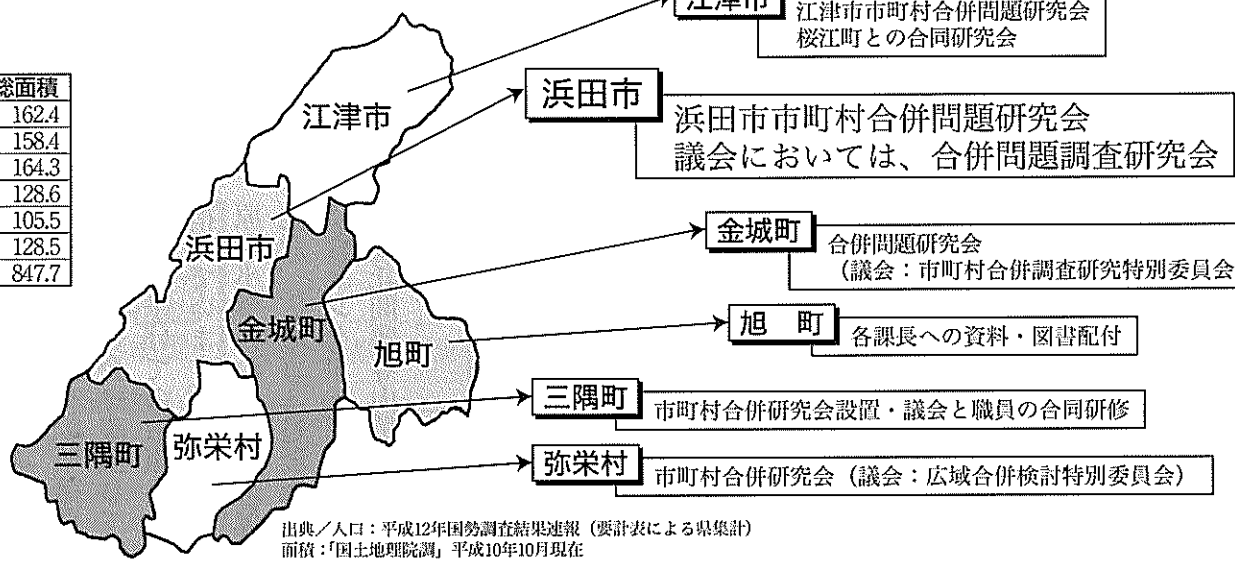
市町村の取り組み

(平成13年10月5日現在)

浜田市+江津市+金城町+旭町+弥栄村+三隅町

合併類型	【2：地域基盤充実強化型】 合併した場合の人口が9万人を上回り、石見部における中核的な都市としての機能の充実・強化が期待される地域。
構成	浜田市、江津市、那賀郡（金城町、旭町、弥栄村、三隅町）の2市3町1村 人口：91,236人 面積：847.7km ²

市町村名	人口	総面積
浜田市	47,188	162.4
江津市	25,772	158.4
金城町	5,216	164.3
旭町	3,198	128.6
弥栄村	1,789	105.5
三隅町	8,073	128.5
計	91,236	847.7



出典/人口：平成12年国勢調査結果速報(要計表による集計)
 面積：「国土地理院調」平成10年10月現在



Ⅶ 私の所感

合併はやむなしという流れの中で、ここは自由な議論をしていく必要があると、今こそ、「みずから、おさめる」と書く自治の在り方を真剣に考える時期が到来しています。仮に合併へ進むにしても、私は合併を止むを得ない流れとして捉えるのではなく、自治体の「自己改革」と捉えていきたいと考えています。また、合併特例債を有効活用して、医療・ITの基盤整備をするのも有効な「まちづくり」であり、より高い都市機能を得る方法であります。

とにかく、地域住民の皆さんが自分達のこととして本気で議論しないことには、地域の将来はないのではなにかと思います。

皆様のご意見をお待ちしております。

もしも合併パターンの通り合併し、新しい市が誕生すると

議員数	96名から30名へ減
交付税措置	293億円
借入限度額	419億円
合併補助金	6億円
合併市町村補助金	600万円

文教厚生委員会行政視察報告

リサイクル問題・PFI。給食センター等の先進地訪問!

リサイクルによる商店街活性化
 (東京・早稲田)

オール電化の共同調理場
 (岩手・水沢市)

PFIによる小学校建設
 (東京・調布市)

早稲田エコステーション前で

水沢給食調理場(オール電化)

東京都早稲田商店会は、空き缶やペットボトルの回収容器を設置したエコステーションを配置し、ひとつ回収するごとに各商店会からの寄付によるサービス券が当たる仕組みになっている。

イベント実施時にも、この取り組みがなされ、ゴミの九〇%のリサイクル率。環境を切り口に商店街の特色を出しているが、当市においても、リサイクルの取り組みはもちろんのこと商店街の特色作りが求められる。

とにかく現地に行つて驚いた。調理場が極めてクリーンなのである。この調理場の中には、当市のセンターのように水を床にまいて掃除をするようなウエット方式ではなく、オール電化システムを導入したクリーンさに加え、水を床に使用しないドライシステムを採用。衛生的かつ職員も軽快な服装でとても働きやすそうであった。更に、ランニングコストが三三%低下し、少ない職員で効率よく運営している。また、原料から口に入るまでの行程を監視・記録するハセップ概念を導入。浜田市にとって、今後のセンター建設に向け大変参考になるものがありました。

あわせて、財政難の水沢市は、浜田市同様、現業職は事務職と同じ行政一表だったが、数年前に低い給与体系の行政二表に戻した。

今注目されているPFIのうち、BTO方式で小学校建設を計画。行政が建設するより、一七、三%の経費の削減効果を得たと言ふことでありました。

背景には、当市と同様の財政難があり、新たな会社を設立して入札に臨んでもらったとの事。入札金額だけでなく創意・工夫等を評価点に入れた総合評価で決定された。財政難の浜田市にとって、このPFI方式は参考にする価値があり、現在も若手職員が研究中の事。今後の一層の調査と導入が期待される方式である。

文教厚生委員会に戻った心境は？ この重点事項は？

川神議員は、本年五月から文教厚生委員会へ戻られました。今、時代をどう感じていますか。また古巣の文教厚生委員会に帰った心境は？

二十一世紀は「環境の世紀」とも「循環型社会」とも呼ばれています。つまり今の時代のキーワードは、「環境」「教育」「情報化」

そして「情性からの脱却」すなわち「改革」が上げられると感じています。これら多くの文教厚生委員会に深く係わる事項で、市民の視点に立った政策を考えたとい、心新たにしています。

現在の委員会での重点取組み事項は何ですか？

国立浜田病院移転新築問題ですね。これは議会でも

国立浜田病院移転新築問題等特別委員会を設置して、市民を挙げての取組みを指しています。それから、原井小学校改築、介護保険関連、広域ゴミ処理施設、給食センター・保育園の民間委託問題等山積している状況です。



障害者施設建設プロジェクト

お答えします素朴な質問
どうして「議会だより」には、「一般質問をした人の名前が出ないの？」

① 公の「議会だより」を個人の宣伝の場としてはならない。

② 同様の質問が複数あると、紙面構成上、氏名を掲載せず質問・答弁を一つにまとめ記載した方が編集しやすい。

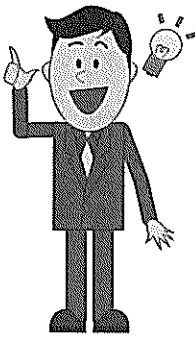
③ すべての内容を載せる

④ 議会の一

ための経費がとれない。

④ 議会の一

しかし、情報公開が進む中、条件整備をしながらの氏名掲載の方向は、時代の流れです。現在、議会においても、その検討が真剣に行われています。



県内の氏名掲載市議会
出雲市・大田市
江津市・平田市

ネット7-7Now

誕生！浜田の若者ソフトボールチーム 浜田シーマンズ

平成十六年に、浜田市において、待望のインターハ

イ男子ソフトボールの大会が開催されることは、皆さんもご存知のことと思います。さて、ソフトボールで圧倒的な強さを誇る木次地区を中心とした東部になんとか追いつこうと本年春、浜田市内の既存のチームから、やる気のある選手が集まり「浜田シーマンズ」というチームを結成、島根県登録をし、現在までいくつかの大会に参加してきました。

浜田の宝物ウツチンツ マイナス十四度屋

浜田港は、近年広島島の北の玄関口として、また環日本海交流の重要な港湾として、位置付けされてきました。しかしながら、最近まで、そういった期待感とは裏腹に、浜田港は港の整備が大層に遅れていたため、その良港の価値を発揮しきれずにいました。

現在は、釜山との定期コンテナ航路が開設され、浜田の大事な宝物として大きな期待を集めています。



暫定3万トンバース

事務局通信

そして、十月二十日に浜田で開催する「中国地区ソフトボール選手権」に、出場！市民の皆さん、この頑張っている若者に対して、ご支援をお願いいたします。私も顧問として頑張っています。

久しぶりの「夢風船タイムス」の発行ですが、前回から半年以上経過してしまい、川神裕司君の活動をしばらくお伝えできなかったことを深く反省をし、読者の皆さんにお詫びします。事務局一同初心に返り、今後活動してまいりますので、どうかご指導よろしくお願いたします。

国の構造改革の痛みや景気低迷による失業等厳しい時代を迎えましたが、川神裕司君も地域の活力づくりに東奔西走しております。引き続き、ご支援をお願いいたします。

川神裕司奮戦レポート

8月~10月

最近の活動は一部抜粋

8月	6日	第四次浜田市総合振興計画審議会
	7~10日	子供神楽交流団団長としてウラジオストーク訪問
	12日	青少年健全ソフトボール大会
	16日	MC浜田IT交流サロン主催
	20日	商会議所青年部創立20周年準備会
	21日	全国中学柔道大会
	25日	国会議事堂視察研修(東京)
9月	28日	県内市議会議員研修(出雲)
	1日	石見神楽を語る会
	3~17日	浜田市議会定例会
	8日	管理薬剤師研修会(松江)
	9日	西部地区ソフトボール選手権(大田)
	15日	敬老会、「しらせ」歓迎レセプション
	16日	ジュニアハイスクールカップ・ソフトボール大会
10月	20日	情報通信基盤懇話会
	22日	鳥取県西部地区合併シンポジウム(文化ホール)
	27~28日	文教厚生委員会市内学校視察
	1日	夢風船を飛ばす会「石正美術館と世界子ども美術館の学芸員のトーク」
	11日	若者定着プロジェクト(仮)設立準備会